

新型コロナウイルス感染症と診断された患者様へ

「新型コロナウイルス感染症における新たな濃厚接触者の定義の確立に関する研究」への協力のお願い

感染対策部門では、過去または現在に新型コロナウイルスと診断された患者様の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象

中部国際医療センターに新型コロナウイルス感染症で入院となった患者様、もしくは入院中に新型コロナウイルスと診断された患者様

研究の期間

2022年1月1日～2031年12月31日

(本研究の期間に関しては、新型コロナウイルス感染症が確認される限り継続とする)

研究の目的

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の濃厚接触者の定義は、主にCDC(Centers for Disease Control and Prevention)やWHO(World Health Organization)の定義(6フィート以内で計15分以上の接触があったもの)が世界的に利用されています。しかし、この定義は、以前のSARS-CoV-2流行株によるCOVID-19を解析して決定されたものであり、感染力と免疫回避性が高い現在の流行株について、同様の定義が適用できるかは不明です。現在オミクロン変異株が世界中で主流となっていますが、その感染力は以前の変異株と比べるとはるかに強く、陽性者とのわずかな接触で感染が成立することが分かっています。したがって現行の定義をもとに濃厚接触者を特定した場合、COVID-19を発症する可能性がある濃厚接触者を見逃す可能性があります。そこで本研究の目的は、COVID-19と診断された患者様、および入院中にCOVID-19と診断された患者様を対象として、SARS-CoV-2陽性者との接触状況や臨床情報を解析して、新型コロナウイルス感染症の発症要因を特定し、新たな濃厚接触者の定義を確立することである。

研究の方法

本研究では、新型コロナウイルス感染症で入院となった患者さま、および入院中に新型コロナウイルス感染症と診断された患者様について、その発症要因に関連する因子(SARS-CoV-2陽性者との接触状況(接触した距離、接触時間、接触した内容)や臨床情報(年齢、性別、基礎疾患、内服薬、ワクチン接種の有無など))をカルテから抽出し、各項目について統計学的な解析によって、その発症要因の特定を行います。これらの情報は全て匿名化され、個人識別が可能な情報は含みません。

研究責任者

稲葉 正人 所属 中部国際医療センター 救急部門感染症診療部 部長代行

共同研究者

三宅 有希子 所属 中部国際医療センター 看護部 感染対策室

安田 憲隆 所属 中部国際医療センター 薬剤部

山口 明彦 所属 中部国際医療センター 臨床検査技術部 微生物検査室 係長
指導研究者

山田 実貴人 所属:中部国際医療センター 救急部門 救急部門長/副院長

研究への参加辞退をご希望される方へ

本研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありません。また、ご自身に新たに費用が発生することはありません。本研究に関する質問等がありましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には、研究の対象といたしませんので、以下の連絡先まで申し出ていただけますようお願いいたします。なお、本研究は中部国際医療センター医学研究等倫理委員会の承認を得ております。また、この研究の参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当病院における診療・治療において不利益をこうむることはありません。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりうる利益相反」は存在しません。

連絡先

中部国際医療センター 救急部門 感染症診療部

電話番号 0575-66-1100 (内線 7746)

責任者氏名：稲葉 正人